

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無		電話	042(769)8287
担当部課名	生涯学習部	生涯学習		
事務事業名	公民館長等経費	事業コード	15110	

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	▼ 年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

市公民館条例施行規則
------------

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進などを図るため、設置した公民館に委嘱した館長の研修に要する経費を支出する。		館長	
		対象数	23名
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
県公民館連絡協議会公民館長研修会旅費 13名		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～ 年度

## 4 評価指標

指標名	館長の出席率		
指標式	出席人数 / 館長数 × 100		
指標設定の意図	出席率により成果を表す		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	58.7	60.9	a 56.5	b 70.0	80.0	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	13	29	34	50	138
	人員・時間数					
	人件費					
	その他経費					
	合計	13	29	34	50	138
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 80.7%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{56.5}{70.0} \times 100 = 80.7\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	館長職は、日常業務も多忙であることから、直接行民間業務に関わらない研修会への出席が高くないものと思われる。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	地域における身近な学習の場やコミュニティ活動を推進する場として、住民主体による公民館運営のあり方などについての研修が開催されており、内容的には充実したものとなっている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	館長職に見合った内容で開催されており、各市町村の公民館長との情報交換もできることから、業務への反映が期待できる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	社会教育法に基づき、本市においては市が設置しているものであり、法では市町村以外では、公益法人が設置できるとされてが現実的でないと思われる。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	研修により、修得した知識を公民館運営に役立てることが可能であり、ひいては地域住民に還元することができる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 B ▼	A : 有効である	理由 :	本市公民館の将来を展望していく場合、「地域づくりの拠点」として公民館長に期待するものは大変大きい。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<b>説明 :</b> 研修の有効性を理解してもらうことにより、さらには出席率の向上が見込める。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<b>説明 :</b> 館長として必要な研修である。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	県下各市の公民館長を対象としているものであることから、類似性を持った事業である。
今後の進め方		説明	地域公民館として、館長と地域住民が一体となって公民館運営に携わることが大切である。このため、館長については、研修をとおしてさらなる知識の修得の知識を図る必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--